



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月3日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 久衛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 中村 重之 (TEL) 0761-55-8000  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	22,981	△18.4	1,083	△36.2	1,469	△30.5	1,560	14.1
2020年3月期第3四半期	28,169	△3.6	1,697	△4.7	2,114	△7.6	1,368	△18.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,139百万円(74.8%) 2020年3月期第3四半期 1,223百万円(121.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	36.42	—
2020年3月期第3四半期	31.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	44,975	35,776	79.5	840.24
2020年3月期	45,973	34,855	75.5	809.39

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 35,776百万円 2020年3月期 34,725百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,200	△17.3	1,620	0.5	2,200	2.2	2,000	45.4	46.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	43,140,999株	2020年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	561,891株	2020年3月期	237,634株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	42,853,760株	2020年3月期3Q	42,903,617株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が一時は収束に向けて推移したものの、第3波による感染拡大に伴う新規感染者の増加による影響から、個人消費の停滞が続き、依然として先行きが不透明な状況となっております。また、コロナ禍においては諸資源の価格は変動が続き、一部には原料の減産や供給不安があるなど、注視すべき状況にあります。

国内需要については、各商業施設ならびに店舗において感染防止対策の徹底のもとで営業を再開しているものの、営業時間の短縮や不要不急の外出自粛の影響から消費は総じて弱含みの状況が続いております。

海外需要については、欧州を中心として新型コロナウイルス感染症の再拡大により、外出自粛による消費マインドの低下と購買志向の変化や、大規模なイベントの開催が制限されるなどの影響から消費は総じて落ち込みました。

このような事業環境のもと、当社グループは市場低迷を克服するとともに、変化する市場ニーズに対応するため、あらゆる施策を実行してまいりました。

当第3四半期においては厳しい受注環境が続く中、技術開発及び商品開発の手を緩めず、くわえて費用管理を強化し、販売管理費を含めたコストダウンを図るとともに、生産活動におけるロス削減に注力しました。このようにトータルコストダウンの推進により、利益低減幅を最小限に食い止め、利益を下支えしました。

また、厳しい市場環境にあるがゆえ、需要喚起のため、技術開発を加速させ、継続的かつ意欲的に新商品の上市に挑みました。その結果、当第3四半期末までに、計12件の新商品のプレスリリースを行いました。

代表例として、新型コロナウイルスに対しても抗ウイルス効果が証明された、ウイルスを酸化分解する新技術「エアロテクノ」を用い、ファッション性の高い「エアロテクノカラーマスク（24色）」を展開しました。続けて、顔全体を覆い表情筋を刺激し老け顔対策に効果的な「きもちあげマスク」を発表するとともに、世界初の新技術であり、あらゆる不織布マスクに装着可能なエコ・抗ウイルス素材「くつつくインナー」の開発に成功しました。商品開発はマスク関連にとどまらず、抗ウイルス素材を用いた新型パーティション「PPSA」を新たに開発し全国の学校を始めとする教育機関に向けて販売を開始しました。「PPSA」は受験用としても利用可能であり、受験シーズンを前に学校関係者から発売当初より受注いただいております。さらに、ポリエステルとコットンの優れた機能を併せ持ち、乾燥時間を最大50%短縮できるエコ新素材「ポリバ」を開発しました。本技術に関連して6件の特許を取得済みです。

このように、社会ニーズに的確に対応する新商品の開発と上市を続け、コロナ対策を中心に社会問題の解決に努力しました。なお、新技術の開発に伴う特許申請については、前年通期実績10件に対し、当第3四半期の段階で一部出願準備中を含め計29件の特許申請となっております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大は依然として収束せず、対面販売が制約を受ける中、WEB環境を活用し、メーカー直販EC事業(DtoC)を加速させるため「商品販売部」を新設しました。商品販売部においては、製品事業として衛生・感染症予防商品を中心としたネット販売(BtoC)を本格化させるとともに、従来の集客型の展示会に代わる「YouTube」を利用した「LIVE動画配信」(ウェビナー)による双方向型のWEB上での営業活動を行うなど、販売促進に取り組みました。

SDGsの達成を含む環境事業の推進については、環境保全のための目標設定や環境改善活動の実施、監査等の環境マネジメントを継続しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は229億81百万円(前期比18.4%減)となり、営業利益は10億83百万円(前期比36.2%減)、経常利益は14億69百万円(前期比30.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億60百万円(前期比14.1%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック及び資材ファブリックの両部門において、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、第2四半期に続き、当第3四半期においても事業環境は依然として、厳しい状況に置かれました。

衣料ファブリック部門に関しては、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続したことから、ファッション及びスポーツの両分野において国内は減収となり、海外においても欧州向けアッパーミドルのみならずラグジュアリーが落ち込む結果となり、総じて減収となりました。一方、中東向けの民族衣装は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、計画通り、順調に推移し増収となりましたが、当部門全体では前期比49億55百万円(25.4%)の減収となりました。

次に、資材ファブリック部門では、車輛分野は需要の持ち直しから、計画通りに推移しました。しかしながら、北米向けオーディオ機器等については新型コロナウイルス感染症の影響により受注が落ち込んだ結果、減収となりました。医療・福祉のメディカル分野、生活関連資材分野及び、カーテンをはじめとするリビング分野におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費が停滞したことから減収となりました。以上の結果、当部門全体では前期比10億54百万円(14.0%)の減収となりました。

製品部門におきましては、EC事業の推進とともに、市場ニーズに応える抗ウイルス加工を施した衛生・感染症防止対策商品の販売を進めたことにより、増収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は225億34百万円となりました。

(物流物販事業)

物流並びに物販分野の当第3四半期連結累計期間の売上高は4億47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、449億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億98百万円減少しました。これは主に投資有価証券が3億64百万円、商品及び製品が3億18百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が10億52百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、91億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億19百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が9億20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、357億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億20百万円増加しました。これは主に自己株式が3億7百万円、非支配株主持分が1億30百万円減少したものの、利益剰余金が8億72百万円、その他有価証券評価差額金が6億30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月28日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,603	8,409
受取手形及び売掛金	7,714	6,661
商品及び製品	1,787	2,105
仕掛品	788	534
原材料及び貯蔵品	1,961	1,164
その他	267	1,317
貸倒引当金	△22	△18
流動資産合計	21,100	20,175
固定資産		
有形固定資産	8,032	6,933
無形固定資産	356	244
投資その他の資産		
投資有価証券	14,134	14,498
繰延税金資産	1,678	1,559
その他	676	1,566
貸倒引当金	△4	△2
投資その他の資産合計	16,484	17,621
固定資産合計	24,873	24,799
資産合計	45,973	44,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,637	3,717
未払法人税等	311	24
賞与引当金	548	253
その他	1,550	1,110
流動負債合計	7,047	5,106
固定負債		
役員退職慰労引当金	329	328
退職給付に係る負債	3,651	3,656
その他	89	107
固定負債合計	4,070	4,092
負債合計	11,118	9,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,701	4,602
利益剰余金	26,075	26,948
自己株式	△119	△426
株主資本合計	35,339	35,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△686	△55
為替換算調整勘定	56	17
退職給付に係る調整累計額	15	10
その他の包括利益累計額合計	△613	△27
非支配株主持分	130	—
純資産合計	34,855	35,776
負債純資産合計	45,973	44,975

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	28,169	22,981
売上原価	22,447	18,247
売上総利益	5,722	4,734
販売費及び一般管理費	4,024	3,651
営業利益	1,697	1,083
営業外収益		
受取配当金	135	111
持分法による投資利益	207	175
為替差益	—	7
その他	110	125
営業外収益合計	453	419
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	22	—
不動産賃貸原価	7	18
その他	6	15
営業外費用合計	36	33
経常利益	2,114	1,469
特別利益		
固定資産売却益	—	885
投資有価証券売却益	6	82
特別利益合計	6	967
特別損失		
固定資産売却損	—	47
固定資産除却損	34	14
投資有価証券評価損	183	350
投資有価証券売却損	—	94
関係会社整理損	—	420
特別損失合計	217	926
税金等調整前四半期純利益	1,902	1,510
法人税、住民税及び事業税	426	134
法人税等調整額	102	△179
法人税等合計	528	△45
四半期純利益	1,374	1,556
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,368	1,560



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,374	1,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	636
為替換算調整勘定	△199	△41
退職給付に係る調整額	0	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△5
その他の包括利益合計	△150	583
四半期包括利益	1,223	2,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,226	2,146
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,711	457	28,169	—	28,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	1,492	1,518	△1,518	—
計	27,737	1,950	29,688	△1,518	28,169
セグメント利益	1,662	26	1,688	8	1,697

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,534	447	22,981	—	22,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	1,286	1,310	△1,310	—
計	22,558	1,733	24,292	△1,310	22,981
セグメント利益	1,054	19	1,074	9	1,083

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。